



01 体を動かすの大好き！

「うぐいす色の世界」

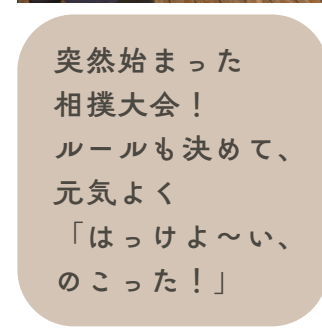
2024年

うぐいす組 生活発表会 No.1

「鬼ごっこしよう！」と声を掛け合い、園庭に元気よく飛び出すうぐいす組さん。夏には「お外は暑いからお部屋で遊ぼうよ」とよく口にしていた姿が幻かのように、涼しくなってきた10月頃から運動好きが発揮され、戸外遊びを楽しむ姿が多く見られます。また、同じ鬼ごっこをする中でも、「鬼にタッチされたら雷に打たれたようにビリビリになる！」など、自分たちで新たなルールを付け加えながら遊ぶようになりました。より楽しくするために自分たちでルールを作ったり、変えたり、それを守ったりすることは、生活上のままりを理解し、守ろうとする力の基盤にも繋がっていきとじています。



縄跳びや鬼ごっこも大人気です！鬼ごっこは自分たちが楽しめるようルールを変えながら遊んでいます。



突然始まった相撲大会！ルールも決めて、元気よく「はっけよ〜い、のこった！」



02 うぐいすバレー

9月から始まったうぐいすバレー。これまで、実際にバレーをしてみても感じたこと共有したり、日本代表の試合を観て気づいたことを話したりする中で、みんなが楽しむためにはどうしたらいいか工夫を加えてきました。色々な視点からの意見があったからこそのこだわりが詰まったうぐいすバレーはこれからもまだまだ、続きます！



初めはネットなしの状態ですター！バレーするにはネットが必要だと気づきました。



日本代表の試合を観て、ユニフォームを作ることにしました！



バレー後、うぐいす会議を行い、もったこうした方がよいのでは？ということについて話し合いました。



～ある日のバレー終了後～

「ボールを本物みたいにしたら楽しいかも！」
「それいいね！あ、でもさ本当のボールは当たったらちょっと痛そうだね」
「そっか、どうしよう」
「あ！あれは！？」

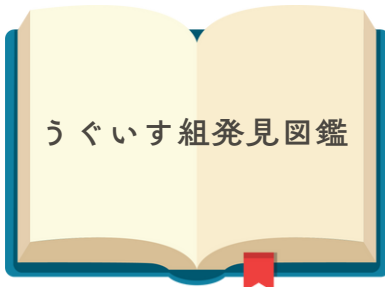
友達の意見を聞き、実践したいが難しい部分もあることに気づいた子どもたちは、それぞれの考えを出し合い、よりよい方法が出るまで話し合いを続ける姿も見られました。



03 おもしろいものみ~つけた

No.2

遊んでいる時、ふと見つけた「これなんだろう」「おもしろい！」と感じたものを友達に伝えるうぐいす組発見図鑑。2学期に入ってから、特徴を捉える力がみるみるついてきたため、帰りの会の時に発表する時間を取り入れました。友達に言葉で伝えることを楽しむ姿や、友達が発表する発見図鑑について、疑問に思ったことやもっと知りたいと感じたことを積極的に質問する姿も見られます。「面白いことをみんなに伝えたい。」そんな日々の生活の中の発見を共有することで、身近なものへの好奇心や探究心が高まっていると感じています。



クローバー

- ・葉っぱをちぎるとハートの形になる
- ・見つけるといいことが起きる

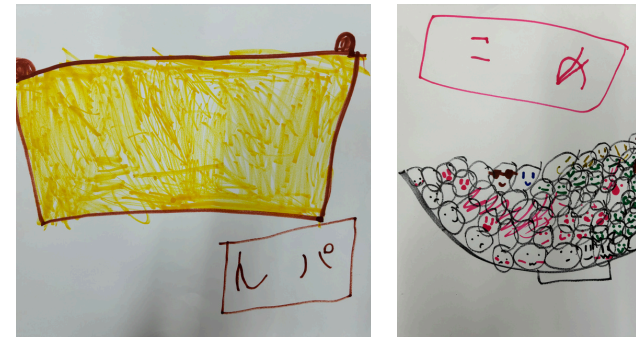
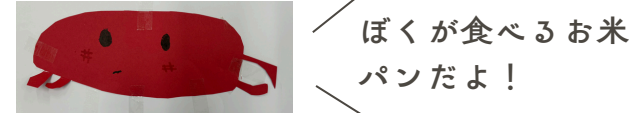
ダンゴムシ

- ・葉っぱやれんがの下にいる
- ・土にもぐりこむこともある

カニ

- ・お米やパンを食べる
- ・暗いところが好き

- ◎◎ うぐいすぐみ はっけんずかん
- 「こんな虫がいたよ!」「おもしろいもの見つけた!」と見つけたもの、気づいたことを友達に話す姿が見られるうぐいすさん。子どもたちの発見を写真も使って伝えるために【うぐいすぐみ はっけんずかん】を作ることになりました!
- 見つけたものの特徴を捉える事が上手なうぐいすさんは、写真と共に特徴を文字にして表現することにも挑戦中!
- 「書いてみたい!」「書きたいけどわからない」「教えてあげよう!」と自分の気持ちを伝え合う姿も見られます。子どもたち目線の発見を通して、伝えることや表現することを一緒に楽しんでいきたいです!



おもしろいもの見つけた!

04 製作の達人たち



「あ!この遊びにはあれが必要だから作ろう!」「あれが作りたい!画用紙ください!」とうぐいす組では日々、製作を楽しむ子どもたちの姿が見られます。製作を繰り返す中でどんどん製作の技術が上がっていく子どもたち。時には“作ったもの紹介”と題して、自分が作ったものを友達に紹介する時間もあり、友達が作ったものを見て真似たり、さらに工夫を加えたりしながら、楽しむ姿が見られます。

製作遊びが豊かに広がることで、手先の器用さはもちろんですが、作り方を友達に伝えるように〈説明する力〉や自分も友達と同じものが作れるようになりたいと〈挑戦する力〉も身につけています。友達の持つ良さ(得意なところ)に気づけるからこそ、互いに高め合っているうぐいす組です。



それぞれに違う考えや見方をを持った友達の話を聞き、自分の気持ちを伝えることを通して、考えを合わせたり、影響し合うことでより良いものができあがっていくことに気づいていきました。友達の持つ考えに「それいいね!」と言える素敵なうぐいす組の子どもたちです。時には意見がぶつかってしまうこともありますが、周りの友達も巻き込んで“意見の伝え合い”を行うことで「そういう考えもあるんだね!」と互いの気持ちを尊重する姿も見られます。自分とは違うものを持っている友達といふからこそ新しいことに出会ったり、楽しいことがいっぱいある。そんなうぐいす色の世界が広がっています。

